

寄附額増加を目指し、 企業版ふるさと納税基金条例を制定

議第2号 三条市企業版ふるさと納税基金条例の制定について

企業が三条市の特定の事業に対して寄附をする流れの中で、寄附金が基金に積まれた段階で寄附者の意向が薄れて、何にでも流用できるように思えてしまうが。

内閣府に対して、企業がどの事業に寄附したいのか、それに対し寄附金を適切に充当したのかを明確に報告しなければいけない義務がある。寄附した事業に必ず充当するという前提で実施したい。

議第13号 令和4年度三条市一般会計補正予算

企業がポータルサイトやマッチング支援業務の委託先を通さずに直接三条市の特定の事業に寄附する場合、手数料や委託料は発生しないということか。

企業側がポータルサイト等を通さずに直接市に寄附する場合は、この

手数料や委託料はかからない。

業務委託等を通さないと企業がらぶるさと納税制度を認知してもらうことが難しいのか。

企業が今どういった事業に寄附したいかという情報については、普段の業務の中で収集することがかなり難しい状態である。まずはポータルサイトの利用やマッチング支援業務委託を通じて、さらなる寄附額の増加に努めたい。



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

決算審査特別委員会レポート

総務文教分科会 野寺久雄 主査 眠育推進事業により睡眠時間9時間未満の5歳児割合低減

法人市民税が予算より3億3000万円以上増えた要因は何か。

業績見込みアンケートにおいて、企業収益が減少すると見込んだ企業は、令和2年度より令和3年度の方が少ない結果であった。このことから、令和3年度は企業収益が増益傾向にあったと捉え、法人市民税が増額した要因と考えている。

眠育推進の成果をどう評価しているか。

平成30年度には睡眠時間が9時間未満の5歳児の割合が39.6%であったが取り組みを進めてきた中で、令和3年度22.7%まで低減された。こうした効果を踏まえ、引き続き事業を進めていく。

令和3年度、消防団員はどのくらい出勤されたのか。

火災、警戒、その他訓練等合わせて延べ1万456名の方に出動していた。

いじめや不登校を減らすための未然防止の手だてとして実施しているQUおよびハイパーQU心理検査の結果を踏まえ、児童にどう対応しているのか。

この心理検査から、一人一人の学校生活に対する意欲や今の学級に所属している満足度が分かってくるため、担任が教育相談という形で具体的に話を聞いたり、その後継続的に配慮したりしながら学校生活における対応を進めている。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

市民福祉分科会 森山 昭 主査 移住相談員・サイト活用で相談件数600件超増加

移住促進事業費について、前年度と比べて移住相談の件数が18件から655件と伸びているがどういった理由か。

移住コンシェルジュを設置した効果が大きい。併せて移住のマッチングサイトを活用した取り組みを進めることで相談者が急増した。

経済建設分科会 坂井良永 主査 社会資本包括的維持管理 事業範囲拡大を検討

有害鳥獣捕獲担い手緊急確保対策事業補助金について、予算額に対し約半分の執行について、どのように考えているか。

狩猟免許や猟銃許可証を取得したい方が少ないことが現実問題としてある。地域の説明会や猟友会を始めとした関係機関との話し合いを通して、免許取得を推進したい。

社会資本包括的維持管理事業費は今後拡充させていくつもりなのか。

現在残されている須頃地区や大島地区、嵐南地区への範囲拡大に向けて取り組んでまいりたい。

高齢者の一人世帯では側溝清掃ができず、集中豪雨時に冠水するケースが多くある。側溝清掃も行政で行うなど、視野をより広げてこの事業を上手く活用してはどうか。

さまざまな課題が顕在化している状況であるが、市内全域に業務範囲を拡充させると費用的な問題が発生することもまた事実。現時点では自治会の中で

駐車場管理費について、東三条駅前駐車場はあまり利用されていないようだが利用は促しているのか。

駅の送迎利用者に向け、30分以内は無料で駅前駐車場を利用できる送迎車両バスを発行し、配布している。今後もパスの配布を通して駅前駐車場の利用を促したい。

生活保護世帯は増えているが、生活保護費全体は減っている。単価の引き下げによるものか。

単価の引き下げはしていない。令和2年度と比べて減額したのは、生活保護の被保護者に対する訪問調査にタブレットを導入し、健康管理に力を入れたことで、医療扶助費が削減できたことが大きな要因だ。

図書館等複合施設建設事業費の移転準備等委託料はどのようなものになるのか。

貸し出しの迅速化や盗難防止などを図るための図書等への非接触ICタグの貼付作業と、図書分類を見直したことから背ラベルの貼り替え作業を委託した。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

決算審査特別委員会の様子



助け合って対応していただきたいと考えているが、長期的な課題であると認識しており、今後検討してまいりたい。認定第1号は賛成多数で、認定第2号は全員異議なく認定すべきものとした。

